

学外書店選書ツアーに参加しませんか？

図書館1階の「ブラウジングコーナー」には、小説、エッセイ、実用書、ガイドブックなど、話題の本や気分転換に役立つ本をそろえています。

このコーナーの本を学生の視点で選書を行う「学外書店選書ツアー」は、学外の大型書店に行って本を選び、おススメのコメントを添えて展示まで行う企画です。展示期間中には、多くの学生が気になる本を手に取り、楽しそうにページをめくる様子がみられ好評です。

あなたもブラウジングコーナーの本を選んでみませんか？ 本学の学生なら誰でもツアーに参加できます！ 毎年春と秋に実施しますのでぜひ参加してください。友人同士での参加も歓迎です。



2025年度 第2回 学外書店選書ツアー

日時 2025年10月22日(水) 14:00～

場所 三省堂書店 名古屋本店

▶申込期間:2025年9月19日(金)～10月13日(月)

▶申込方法:PORTAアンケート「【ライネルス中央図書館】2025年度第2回学外書店選書ツアー申込受付」から



自分の興味のある資料が選べて楽しかったです。大きな書店で選べる本がたくさんあり、あつという間でした。

総合政策学部・3年

関心を持ってもらえる本を選べたかどうか不安ですが、普段自分が読まない本も選書でき、読書の幅が広がりました。

外国語学部・4年

自分では買えないような値段の本も、図書館で読めるようになると思うと嬉しいです。

外国語学部・4年



参加した学生の声



「こういう学生がこういう時に読むだろうな」と想像して選書するのはかけがえのない経験でした。

人文学部・4年

自分の選んだ本が図書館に並ぶと考えると嬉しいです。是非多くの人に図書館を利用してほしいです。

経済学部・3年

今まで書店を隅々まで見る事がなかったので、いろいろな本に出会えるいい機会になりました。

外国語学部・1年

編集後記

学生みなさんに少しでもデュナミスに関心をもってもらいたいと、今号の特集は親しみやすいテーマを選び、「ディズニーを探る。」としました。今号を通して、1人でも多くの方に新たな発見が生まれ、図書館のサービスを活用するきっかけになることを願っています。

AYNAMIS

図書館報 デュナミス No.82
2025年10月1日発行

南山大学ライネルス中央図書館 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18
TEL.052-832-3707 <https://office.nanzan-u.ac.jp/library/>

ISSN: 0917-4508

編集: 南山大学ライネルス中央図書館
撮影協力: Pachhai Pabisa, Lee Kasumi
表紙撮影: 図書館事務室

デュナミス
バックナンバー



デュナミス

AYNAMIS

Nanzan University Reiners Central Library Bulletin



特集

ディズニーを探る。Contents

- P.2 FEATURE ディズニーを探る。～図書館サービスを活用しよう～
- P.4 FEATURE 資料から見るディズニー
- P.6 ARTICLE 私の書いた本 ～教員著書紹介～ …… 小林 佳世子
- P.7 TOPIC1 図書館Webページがリニューアル！
- P.8 TOPIC2 学外書店選書ツアーに参加しませんか？

ディズニーを探る。 ～図書館サービスを活用しよう～

Feature

今回のデュナミスではディズニーをキーワードにして、図書館サービスの上手な活用方法や、ディズニー関連の資料を紹介します。いろいろな図書館資料を通して、思いがけないディズニーの一面を探してみてください。

はじめに

南山大学の図書館では紙の資料のほか、電子媒体の資料も提供しています。うまく活用できているでしょうか。

電子媒体は大きく分けて3種類あり、書籍を電子化した「電子ブック」、雑誌を電子化した「電子ジャーナル」、そして文献情報・数値情報・画像情報等を検索・閲覧できる

「データベース」です。この3つをまとめて「電子リソース」と呼んでおり、図書館Webページの「電子リソースポータル」からアクセスできます。

今回紹介するいくつかの例を通して、資料利用の幅を広げてみましょう。

電子ブックを利用する

ディズニーによって映像化された作品“Alice's adventures in wonderland”“The little mermaid”“Rapunzel”などは、電子ブック版の外国語読本で読むことができます。また、スティーブ・ジョブズがディズニーの子会社ピクサー社を

買収し成長させる様子を描いた評伝『楽園追放とピクサー創立』も本学で電子版を所蔵しています。電子ブックを利用するには、OPACや電子リソースポータルから探してみてください。

電子ジャーナルやデータベースから探す

たとえば、経済・経営分野の電子ジャーナル「東洋経済デジタルアーカイブズ」や「週刊ダイヤモンドデジタルアーカイブズ」では、下のような数十ページにもおよぶディズニーの特集記事を読むことができます。また、日経BP社の「日経BP記事検索サービス」を使えば、同社の数十タイトルにおよぶ多種多様な電子ジャーナルを横断検索でき、様々な分野から記事を効率的に探せます。

もし、東京ディズニーランド(TDL)の経営情報を入手したければ、企業情報の総合的なデータベース「eol」の出番です。

「eol」を使えば、TDLの運営会社「㈱オリエンタルランド」の事業内容、最新の財務データや企業ニュース等の調査がとても簡単にできます。

以上は一例ですが、電子リソースには多くの種類と特性があり、目的に応じて上手に使い分ければ、みなさんの情報収集能力を大幅に向上させることができます。図書館の利用講習会やレファレンスサービスも積極的に活用しながら、情報収集スキルを磨いていきましょう。



▲週刊ダイヤモンド2012/2/18号



▲週刊東洋経済2009/12/5号

国立国会図書館デジタルコレクションを利用する

国立国会図書館で収集・保存しているデジタル資料を検索・閲覧できるサービスです。絶版等で入手が難しい資料など、インターネットを通じて自身の端末で閲覧できるものもあります。たとえば、ウォルト・ディズニーの児童文学における賛否について述べられた資料「ウォルト・ディズニーの功罪」(子ども文庫の会, 1967) も読むことができます。詳しくはサービスカウンター(レファレンス)までお問い合わせください。



dマガジン

左のページで紹介した電子ジャーナルをはじめ、本学の所蔵する雑誌は専門雑誌や学術雑誌が主体となり、巷の書店の雑誌コーナーで並んでいるような一般雑誌は所蔵が限られています。それを補完するサービスとして、docomoが提供するdマガジンという電子雑誌サービスを館内で提供しています。

使い方はとても簡単で、館内で学内Wi-Fiに接続してdマガジンアプリを開くだけです。2400誌以上の多種多様な雑誌を見ることができ、ディズニーを専門に扱う「ディズニーファン」や、最新のディズニーランド旅行ガイドも配信されていますので、ぜひ利用してみてください。(2025年7月現在)



Do you know "EPCOT"?

EPCOTとは、1966年にウォルト・ディズニーが構想した未来都市“Experimental Prototype Community of Tomorrow”の頭文字から名付けられた言葉です。

彼の没後、その構想を引き継ぐ形でアメリカのウォルト・ディズニー・ワールド・リゾート(米フロリダ州)にパークの一つとして作られたのがEPCOTです。

EPCOTの情報は海外の新聞・雑誌に多く掲載されています。海外の総合データベースである「EBSCOhost」

などを検索すると、オープン当時の新聞記事から最新の雑誌記事まで現地発の情報を得ることができます。もちろん、「日経テレコン21」や「ヨミダス」などを使えば、日経新聞や読売新聞などの日本語記事も検索できます。電子リソースポータルからは是非アクセスしてみてください。

EPCOTは常設の万博とも言われており、大阪・関西万博との共通点などを調べてみるのも面白いかもしれません。



Greg-Park / Unsplash.com



Heather-Maguire / Unsplash.com

資料から見るディズニー

Feature

ウォルト・ディズニーの生涯と手掛けた事業、多様なビジネスなど、ディズニーを探る資料を紹介します。

Basic Knowledge

Disney A to Z : the official encyclopedia : オフィシャル百科事典

デイヴ・スミス著；
山本美香 [ほか] 訳



ディズニーの公式百科事典（第3版（2006））の日本語翻訳版。オフィシャルならではの掘り下げた内容が特徴です。図版が多く見るだけでも楽しい、ディズニーの情報を手早く得られる資料です。より新しい情報が欲しい人には、英語版（第6版（2023））の利用をお勧めします。

ディズニーとは何か

有馬哲夫著



メディア研究者である著者による、ディズニーの本質を追った資料です。ウォルト・ディズニーの人物像、手掛けた事業、アメリカ史における位置づけ、フェミニズムとの関係、文化や各国への影響などを幅広く論じています。ディズニー全般の知識を得るのにお勧めです。

Animation

ディズニーとライバルたち：アメリカのカートゥン・メディア史

有馬哲夫著



アメリカのアニメーション発達の歴史を、ウォルト・ディズニーとそのライバルたちとの競い合いの観点から論じています。前半生でウォルトがエネルギーを注いだアニメーション事業の全体像を知ることができます。ディズニーがアニメーション界で起こした革命、成功と失敗、テレビへの進出と撤退までが詳細に描かれています。

ディズニー変形譚研究：世俗化された福音への信仰

宮平望著



「白雪姫」から「アナと雪の女王」までのディズニーの代表的な映像作品をとりあげ、そこに描かれた友情、恋愛、家族愛等を聖書のテーマと絡めながらひも解いていきます。ディズニーの作品が多くの人に受け入れられる理由を、キリスト教の視点から解説しています。ディズニー作品を深く理解するために。

Biography

創造の狂気ウォルト・ディズニー

ニール・ゲイブラー著；
中谷和男訳



「ウォルト・ディズニーは冷凍されている」という刺激的な言葉で始まるウォルト・ディズニーの評伝。伝記作家である著者が、ディズニー社の膨大な資料を7年間かけて調査し、関係者への綿密な取材を積み重ねて執筆しました。ディズニーを大衆文化の側面から分析している点に特色があります。

ウォルト・ディズニー：創造と冒険の生涯

ボブ・トマス著；
玉置悦子、能登路雅子訳



ウォルト・ディズニーの生涯を綿密に調査して書かれた伝記。巻頭に多くの鮮明な参考写真があります。ウォルト・ディズニー本人に数十回インタビューした経験がある著者が、ウォルトの親族や同僚へインタビューをし、本書をまとめました。訳者は2人とも、東京ディズニーランド立ち上げプロジェクトの関係者です。

闇の王子ディズニー〈上・下〉

マーク・エリオット著；
古賀林幸訳



ディズニー・スタジオの公認を得られなかったため、関係者への独自取材に基いてまとめられたウォルト・ディズニーの伝記。それまで、あまり取り上げられなかったFBIとの関係、出生の秘密、1941年のストライキ、マフィアとの関係など、ウォルトの人間くさい側面まで踏み込んで書かれています。

私のパパウォルト・ディズニー

ダイアン・ディズニー・ミラー著；
ピート・マーティン文；
上杉隼人訳



長女ダイアンが著した、父親ウォルト・ディズニーの伝記。平易で分かりやすい語り口から父親への愛が感じられる一方、事業での失敗や軍部との関係についても言及しています。家族のプライベートな写真も掲載されており、親族から見たウォルトの人物像を確かめられる貴重な伝記です。

ウォルト・ディズニーの約束

John Lee Hancock [監督]；
Kelly Marcel, Sue Smith [脚本]



1964年のディズニー映画『メリー・ポピンズ』の製作背景を描いた映画。『メリー・ポピンズ』の原作者パメラ・トラヴァースとディズニー側とのやりとりや映画化の過程はもちろん、ウォルトの「性格」なども描かれています。エンドロールには当時の交渉音声の一部収録されています。

Business

ディズニーランド成功のDNA

ホリテーマサロントーマパーク研究会著



東京ディズニーランドがこれほどまでに成功した理由は？ディズニーランドの誘致を夢見た人たちが、幾多の困難に直面しながらも果敢に挑戦した奇跡ともいえる数々のドラマ。緻密な計画と情熱、そして明確な基本理念。ディズニーランドのDNAは、ビジネスの世界に限らず様々な形となってつなげていけることを教えてくれます。

ディズニー白熱教室「仕事で大切なこと」を知る授業

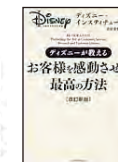
WILディズニー国際カレッジ・
プログラム運営事務局著



「ディズニー白熱教室」とは、世界各国の学生を対象に、ディズニー流の働き方等を学ぶ「ディズニー国際カレッジ・プログラム」のこと。主体的に動き楽しく仕事をするコツ、人は人間関係の中でこそ成長できる...など、仕事に限らず人生を考えるヒントをくれる資料として、ぜひ手にとってみてください。

ディズニーが教える お客様を感動させる最高の方法

ディズニー・インスティテュート著；
月沢李歌子訳



ディズニー独自の顧客サービスの極意をディズニー・インスティテュート自身が明かしています。顧客満足度の向上は、ディズニーも課題として挑戦し続け、将来に向けた目標としてハードルを高くし続けている様子が示されています。根底にあるウォルト・ディズニーの言葉を具体化していく努力を知る1冊です。

南山大学にない資料を利用するには...

CAN私立大学コンソーシアム

中部大学・愛知学院大学の図書館は、本学の学生も利用でき、資料を借りることができます。送料の負担なく取り寄せることもできます。

購入希望図書

本学に所蔵がない資料の購入を図書館にリクエストできます。OPACのMy Libraryから依頼してください。

※どちらのサービスも詳しくは図書館Webページをご覧ください。

※ここで掲載した書影は、国立国会図書館サーチの書影APIのデータ(データ提供機関: 出版情報登録センター)を利用しています。

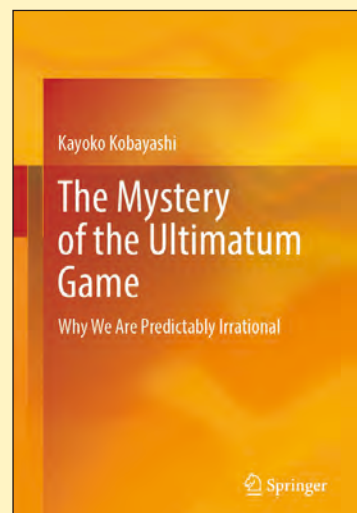
私の書いた本 ～教員著書紹介～

経済学部教授 小林佳世子



最後通牒ゲームの謎：進化心理学からみた行動ゲーム理論入門

小林佳世子著
日本評論社, 2021



The mystery of the ultimatum game : why we are predictably irrational

by Kayoko Kobayashi.
Springer, 2025 [電子ブック]



2冊の書籍を紹介させていただきます。

1冊目は、2021年に日本評論社から出版された日本語の書籍、2冊目はその改訂英語版です。2025年3月に、Springer社より査読を経て刊行されました。英語書籍の日本語訳は多々あれど、日本語の書籍が海外出版社から英語で出版されるのは、かなり珍しいことではないかと思います。

これらの本では、「最後通牒ゲーム」という、ちょっと聞きなれないものを出発点として、「ヒトって何者なんだろう?」という問いに、学問を超えて本気で迫ります。

ここで私が提案したのが、「適応合理性」という、新しい見方です。

経済学は200年以上の長きにわたり、「人は合理的に行動する」という考えを基本にしてきました。これに異議を唱えたのが、不合理性を強調する行動経済学です。本書で示す「適

応合理性」は、どちらとも違う立場からヒトという生き物を見直すことで、意思決定をより深いところから理解できるのみならず、この二つの経済学を繋ぎます。

つまり本書が提唱する「適応合理性」は、対立すると思われる従来の経済学と行動経済学の、両者を統合的に理解できる初めての枠組みであるばかりか、人間という存在の根源を探りながら、幅広い分野の知見と整合的な形でヒトの行動を説明することを可能とします。

本書の特徴の一つは、経済学の世界を遥かに飛び越えた、心理学や脳科学、赤ちゃん研究、文化人類学、動物行動学といった多様な領域との深い繋がりです。ただしこうしたアプローチは想像以上に困難で、気が付けば、日本語版には約7年もの時間を費やしていました。

ここで痛感したのは、学際研究の高い壁でした。そこで目指したのは、「誰にでも読める専門書」です。「皆の幸福」のための社会の仕組み作りが経済学の本質だと言うならば、ヒトという存在の理解は不可欠なはず。しかし本当に「ヒト」を知りたいならば、単独の分野だけでは不可能です。『壁』を超えた対話を進め、領域横断的な知を結集するためには、そもそも誰もが理解できる言葉が必要だと、強くそう感じたのです。

ありがたいことに出版後は、思いもかけない多領域の学会や研究会に加え、官庁での発表、高校や一般向けの講演、さらには学会や異分野の国際学会での招待講演などにもお声がけ頂けるようになりました。そこで得た多くの気づきの中で、英語出版を考えるようになりました。方法も資金の見通しも皆目わからぬ手探りの中、Book proposalから外部査読を経て、なんとか刊行に漕ぎ着けました。結局、この過程にさらに4年近い時間を要してしまいました。

嬉しい事もありました。なんと、ノーベル経済学賞を受賞されたAlvin Roth先生が、ご自身のブログで本書を紹介くださったのです。しかもそこで引用して頂いたのは、英語版で新たに書き加えた、とても思い出のある一節でした。また、マックス・プランク研究所のWerner Güth先生からは、直筆の手紙を頂いてしまいました。「Dear Kayoko, Congratulations!」で始まるお手紙は、生涯の宝物です。つい先日は韓国の研究者の方からも連絡を頂けて、すべてにただ感謝の一言です。

日本語版は優れた経済書として、英語版原稿は優れた論文として、それぞれ賞を頂くこともできました。嬉しさも苦しさも、詰まった本です。手に取って頂けたなら、望外の喜びです。

図書館Webページがリニューアル!

2025年9月にリニューアルした図書館Webページのハイライトをご紹介します。



利用案内

利用者別のページ構成としたことにより、利用方法やサービス内容が見やすくなりました。各種申請書もこちらからアクセスできます。

開館時間

当日の開館時間をWebページで見られるようにしました。なお、[カレンダー▶]をクリックすると今後の開館予定が確認できます。

よく使う機能アイコン

蔵書検索窓の下には、OPAC TOPページや電子リソースポータル、機関リポジトリ、デジタルライブラリーといった、よく使う機能をアイコン化し、アクセスしやすくなりました。

イベント情報

図書館では、年間を通じて様々なイベントを企画・開催しています。イベント開催情報をお知らせするコーナーを新設しましたので、興味のあるイベントを探して参加してみてください。

目コンテンツメニュー

スマートフォン表示対応に伴い、今まで上部にあったメニューは三本線のメニューボタンに格納されましたが、TOPページ下部からもメニューにアクセスできるよう画像アイコンを配しています。

サイトマップ

今回のリニューアルを機にサイトマップを新設しました。サイト内のメニューやその中のページを一覧で確認できます。